PMI日本支部
2024年6月度法人スポンサー連絡会

AI時代のプロジェクトマネージャー育成

～その課題と戦略～

ビジネスファシリテーション・サービス
代表　新岡 優子（Yuko Niioka）

オープニングAIデモ

《 テキスト・画像生成AI 》

Gamma

https://gamma.app/?lng=ja

《 音楽生成AI 》

Suno AI

https://suno.com/

《 動画生成 》

- LumaAI Dream Machine
- トイザらス、OpenAIのSoraで1分間のCMを制作

Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

（参考）最新情報： Claude 3.5 Sonnet

- 【Claude 3.5 Sonnet】ChatGPT-4oを上回る最強の生成AIがリリース
  - 機能
    - スライド生成
    - WebUI生成
    - スマホUI生成
    - フローチャート生成
    - 簡易ゲーム生成
    - カスタマージャーニーマップ
    - 動画生成
    - システム設計
  - https://www.youtube.com/watch?v=zVe0gT-W2EA

    （元木大介@生成AI塾創立者のYouTubeより）

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

（参考）最新情報：Dify

- **Difyとは**
  - **オープンソースのLLMアプリケーション開発プラットフォーム**
  - AIワークフロー、RAG（Retrieval-Augmented Generation）パイプライン、エージェント機能などを統合
- **活用事例**
  1. **RAGの導入**
     - 地方共通相談チャットボットを3時間で開発
     - RAG技術でユーザーの質問に対して関連性の高い情報を提供
  2. **レポートの作成**
     - 医療現場での生活習慣病利用計画書の自動作成
     - 患者との面談内容をAIに渡し、計画書の素案を自動生成
  3. **定時AIアプリ起動**
     - ウェブサイト情報をクローリングし、Notionにデータを自動埋め込み
     - 特定の時間にアプリを自動起動
- **今後の展望**
  - **日本市場への進出**：日本にオフィスを開設し、現地サポートを強化
  - **技術革新の継続**：最新のAIモデルに対応し、高品質なアプリケーション提供を維持
- **強み**
  - **最新AIモデル対応**：常に最新のAI技術を取り入れることで、高い性能を維持
  - **柔軟な導入方法**：クラウド版とローカル版の両方に対応

生成：ChatGPT-4o

（参考）最新情報：Coze

- **Cozeとは**
  - **次世代AIチャットボット開発プラットフォーム**
  - コーディング経験がなくても、誰でも簡単に強力なチャットボットを作成し、Discord、Telegram、Slackなどの様々なメッセージングアプリに展開可能。
- **活用事例**
  1. **ノーコードでのチャットボット開発**
     - ユーザーはコーディングなしで迅速にチャットボットを構築でき、企業や個人がAI技術を活用するハードルを下げています。
  2. **マルチプラットフォーム対応**
     - Cozeのボットは、Discord、Telegram、Messenger、Slack、Redditなど、多様なソーシャルプラットフォームに展開可能。これにより、幅広いユーザーにリーチできます。
  3. **カスタマイズ可能な機能**
     - ボットの応答を細かく調整できる設定（例：温度調整、変数、タスク機能）を提供し、ユーザーのニーズに合わせた柔軟な対応が可能です。
- **今後の展望**
  - **中国市場への戦略的展開**：ByteDanceのエコシステム内で広範に利用されることを目指し、FeishuやWeChatなどと統合されています。
  - **グローバル展開の可能性**：ByteDanceの支援により、さらなる市場拡大が期待されています。
- **強み**
  - **ユーザー中心のアプローチ**：**ユーザーがボットを自由に作成・展開できる**ツールを提供し、開発の自由度と利便性を高めています。
  - **高度な機能と柔軟な設定**：ビジュアルビルダー、温度設定、変数、タスク機能、プラグインシステムなど、他のプラットフォームにはない多機能を提供

生成：ChatGPT-4o

出所

- Dify
  - Dify.AI
  - GitHub
  - 第10回 GenAI 勉強会 サンミン氏「Dify Meetup ダイジェスト」 生成AI 研究会（GAIS）
    - https://www.facebook.com/groups/gais.jp
- Coze
  - Product Hunt - Coze
  - Coze Official Website
  - Testing Catalog - ByteDance's Coze
  - Gizmochina - ByteDance Unveils Coze
  - TechNode - ByteDance launches GPT-like chatbot development platform

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

目次

- オープニング
  - AIデモ
  - AI技術最新情報
- 世界の中の日本
  - AIにおける日本市場
  - 日本のAIコミュニティ最前線
- AI時代 日本のPM育成
  - 現状と課題
  - 戦略：来たるAI全盛時代に向けて
- 講師による生成AI活用デモ
  - グループワーク
- クロージング

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

講師プロフィール

新岡 優子
Yuko Niioka

第1期：IT期。20数年

IT企業に入社。エンジニア、プロマネ、ITコンサルで20数年在籍。
（主な顧客：大手製造業のシステム開発部門）

第2期：組織開発期。組織作り・人作りのご支援17年

45歳でITコンサルで起業。翌年リーマンショックで、組織開発コンサルに移行。以来17年間、組織・チーム・人作りに。
（主な顧客：大手人事部、経営戦略室）

2020年 大企業→中小企業の経営者様向けサービス展開

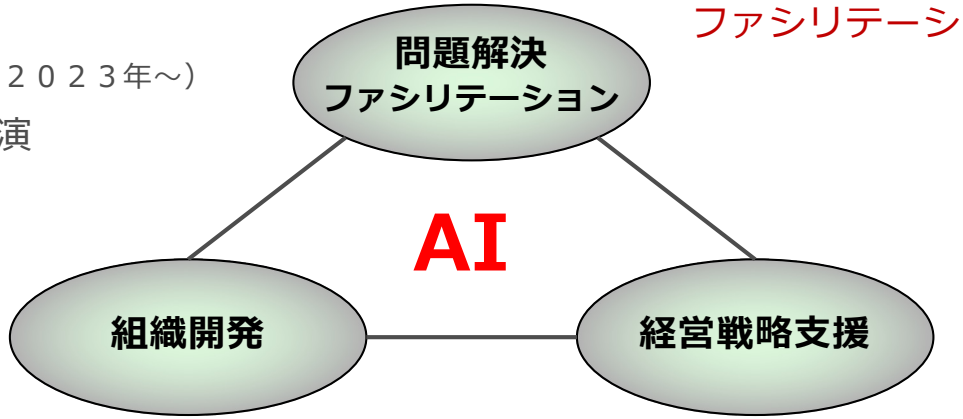
第3期：AI・組織開発・経営戦略支援の融合期（2023年～）

AI×組織開発×経営戦略を融合した事業戦略支援。書籍出版を機に、経営者の会の人脈を生かし、新ビジネスを展開。

問題解決
ファシリテーション歴
20年

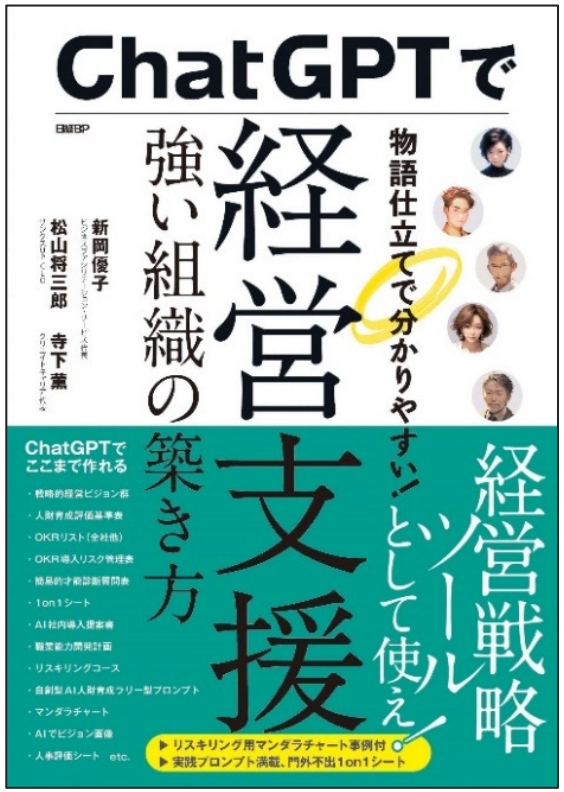
＜各種講演、セミナー、勉強会の実績＞（２０２３年～）

- ✓ 製造業プロジェクトマネージャ向け講演
- ✓ ＩＴコンサル企業向けセミナー
- ✓ 海外日本法人管理職向けセミナー
- ✓ 士業向け勉強会
- ✓ 製造メーカーエンジニア向け勉強 等



Copyright 2024 Business Facilitation Service.

著書



『ChatGPTで経営支援 強い組織の築き方』

- ✓ 日経BP社
- ✓ 2023年11月（2023年5月～）

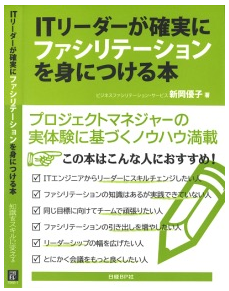
■ 日経BP社で最後のChatGPT本
（経営戦略ツール）

■ 物語仕立てで読みやすい！
（520ページ）

Amazon
- ➢ 企業動向１位
- ➢ 会社経営３位
- ➢ 企業経営４位

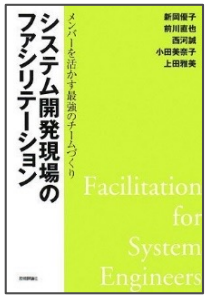
『仕事の質が劇的に上がる88の質問』
- ✓ 日経BP社
- ✓ 2019年
- ✓ **台湾で翻訳**

『ITリーダーが確実にファシリテーションを身につける本』
- ✓ 日経BP社
- ✓ 2015年



『ファシリテーターの道具箱』
（共著）
- ✓ ダイヤモンド社
- ✓ 2008年
- ✓ 16刷
- ✓ 台湾で翻訳

『システム開発現場のファシリテーション』
- ✓ 技術評論社
- ✓ 2008年



Copyright 2024 Business Facilitation Service.

物語風書籍：登場人物

「皆さんの不安な気持ち、とてもよく理解できます。しかし、AI はただのツールではありません。
最新の技術を駆使して、新しいビジネスモデルの発見や意思決定をサポートすることができます。
組織作りにAIをどう活用すれば最善か、一緒に探求しませんか？」

果たしてソフィアと鈴木の関係は？
そしてソフィアは最後にどうなる？

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

書籍のコンセプト

この物語は、

あなたとAIが手を取り合い、

人間同士の

深いつながりを築くことで、

新たな知識、気づき、

そして成長への道を

切り開く冒険です。

共創（Co-creation）

異なる主体が共同で何かを作り上げるプロセス

『人とAI』の共創

- 人間と人工知能（AI）が協力して新しい価値やソリューションを生み出すプロセス
- AIはデータ分析、パターン認識、意思決定のサポートなど、特定の能力で人間を補完する
- AIが提供する洞察と人間の創造性や経験が結びついて、新しいイノベーションや効率的な問題解決が行われる

『人と人』の共創:

- 異なる個人やグループが協力し、アイデアやリソースを共有して新しい価値を生み出すプロセス
- 多様な視点、経験、専門知識を持つ人々が相互に作用し、創造的な解決策や革新的なアイデアを生み出すことを目指す

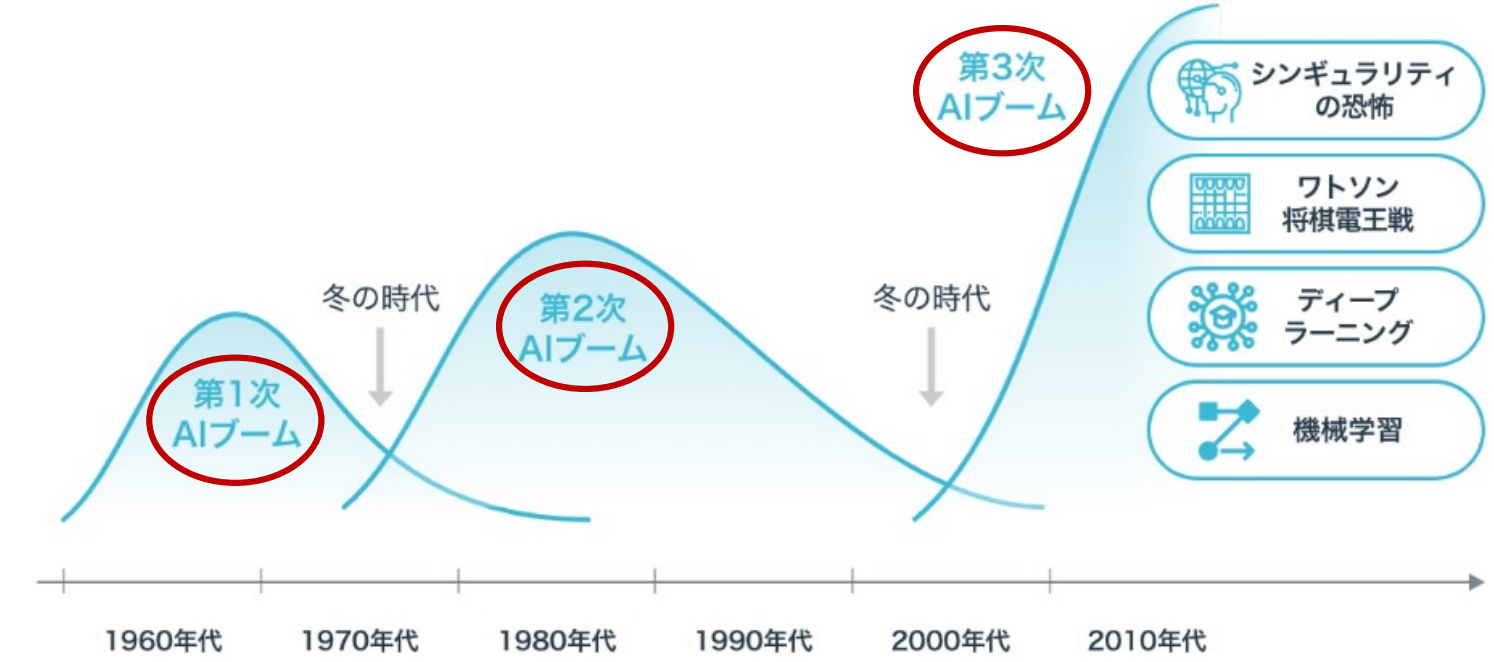
Copyright 2024 Business Facilitation Service.

今なぜAI（人工知能）？

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI（人工知能）の歴史

AIとは・・・コンピューターや機械が人間のように学習し、高度な知能を示す技術です。AIシステムはデータを分析し、経験から学び、特定のタスクを自動化することができます。



（株式会社Aismiley ホームページより）

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AIの使われ方

Y

AIは私たちの気づかないところでどのように使われていますか？

生成：ChatGPT−4

AIは私たちの日常生活に深く組み込まれており、多くの場合、私たちが意識することなく利用されています。以下に、気づかない間

1. **オンラインショッピングとレ**
   - AIは購入履歴や閲覧
     す。
2. **ソーシャルメディアフィード**
   - ソーシャルメディアプラ
     告をフィードに表示しま
3. **スパムフィルタリング**:
   - 電子メールプロバイダー
     届くようにしています。
4. **音声アシスタントとスマー**
   - SiriやGoogle Assis
     AIを使用しています。
5. **交通システム**:
   - 交通管理システムは、渋滞を緩和し、信号のタイミングを最適化するためにAIを使用しています。
6. **金融サービス**:
   - クレジットスコアの計算、異常取引の検出、自動化された取引戦略など、金融業界ではAIが広く利用されています。
7. **エンターテイメントとメディア**:
   - 映画の推薦や音楽ストリーミングサービスにおけるプレイリストのカスタマイズなど、AIによるパーソナライズが行われています。
8. **スマートホームデバイス**:
   - 家庭内の照明、温度、セキュリティシステムを制御するスマートホームデバイスも、AIを活用しています。
9. **自動翻訳サービス**:
   - ウェブページやドキュメントをリアルタイムで翻訳するサービスは、AIを駆使しています。
10. **医療診断**:
    - 医療分野では、画像診断や病歴の分析にAIが使用されており、時には医師も気づかないパターンを識別することがあります。

これらの例はAIがどのように日常に使われているかの一部に過ぎませんが、AIの影響はほぼ全ての産業に及んでおり、私たちの生活の質を向上させ、より効率的なサービスを提供しています。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AIの種類

Y 生成AI以外にどんなAIがありますか？

生成：ChatGPT−4

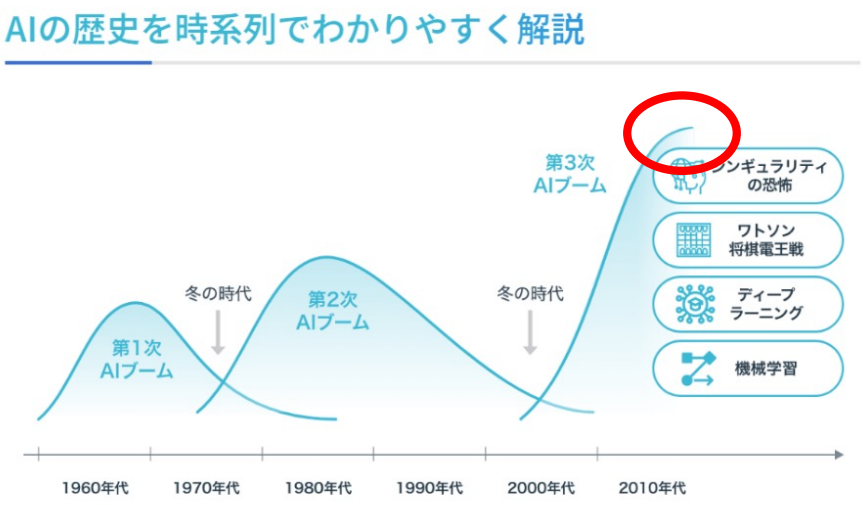
人工知能（AI）は、
あり、テキスト、画像、
AIのカテゴリーには以

1. **認識AI**:
   - **画像認識**: 画像
   - **音声認識**: 音声
   - **自然言語処理**
2. **推論AI**:
   - **意思決定支援**:
   - **問題解決**: 複雑
3. **予測AI**:
   - **時系列予測**: 金
   - **需要予測**: 事業
4. **自律AI**:
   - **自動運転車**: 実世界の環境を認識し、運転に関する判断を下します。
   - **ロボット**: 物理的な環境で独立してタスクを完了するためのAI。
5. **分析AI**:
   - **データマイニング**: 大量のデータセットから有益なパターンや情報を抽出します。
   - **ビッグデータ分析**: 膨大なデータセットを処理し、インサイトを得るために使用されます。
6. **インタラクティブAI**:
   - **チャットボット**: 顧客サービスや情報提供のために、ユーザーと対話します。
   - **パーソナルアシスタント**: SiriやGoogle Assistantのように、個人のタスクを支援します。
7. **感情AI**:
   - **感情認識**: 人の感情を認識して反応するAIです。
   - **感情分析**: テキストや音声データから感情を読み取ります。

これらは AI の主なカテゴリーですが、実際にはこれらのカテゴリー間の境界は流動的であり、多くの AI システムは複数の機能を組み合わせています 。また、AI は進化し続ける分野であるため、新しいタイプの AI が定期的に登場しています 。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

今なぜ生成AI？



日本で一番早く最新の情報を
キャッチ・実践しているのはXコミュニティ

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

投票

1．導入しているAIの種類について

2．AIの活用度合いについて

3．AIの導入における課題について

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

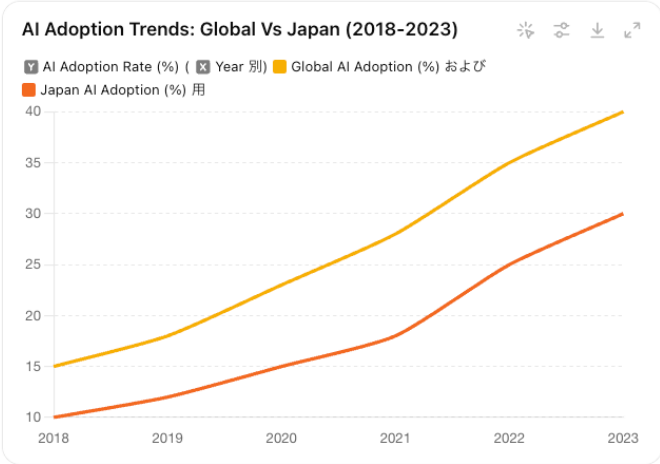
世界の中の日本
AIにおける日本市場

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

現状・課題・展望（１）

- **現状**
  - 日本のAI市場は急速に成長しており、2022年の市場規模は約27.12億ドルに達した。特にソフトウェア分野が高い成長率を示しており、データストレージ能力や並列処理能力の進展が背景にある。また、スマートシティプロジェクト（例：トヨタのウーブン・シティ）がAI市場の成長を牽引している (Spherical Insights)。

- **課題**
  1. **人材不足**：AI専門の人材が不足しており、教育と育成が急務である。
  2. **データ利用の制約**：プライバシー保護やデータセキュリティに関する規制が厳しく、データの活用が難しい。
  3. **国際競争**：他国との競争が激化する中で、日本の競争力を維持するための継続的な投資と革新が求められる (Spherical Insights)。



出所：IBM2023年グローバルAI導入指数レポート（https://filecache.mediaroom.com/mr5mr_ibmspgi/179414/download/IBM%20Global%20AI%20Adoption%20Index%20Report%20Dec.%202023.pdf）

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

生成：ChatGPT-4o

現状・課題・展望（2）

- **将来の展望**

  日本は以下の戦略を採用する必要がある：

  - **教育と人材育成**：AIに関する教育プログラムを充実させ、次世代のAI専門家を育成する。
  - **データ活用促進**：データの安全性を確保しつつ、データの共有と活用を促進する政策を推進する。
  - **国際協力**：他国との協力を強化し、国際的なAI技術の標準化や研究開発プロジェクトに積極的に参加する (Spherical Insights)。

- **結論**

  - AI技術は日本の経済成長と社会発展に大きな影響を与える。日本が世界のAI市場において競争力を維持し、リーダーシップを発揮するためには、戦略的な投資と革新が不可欠である。適切な政策と戦略により、日本はAI技術の先端を走り続けることができるであろう。

- 出所：

  Spherical Insights：https://www.sphericalinsights.com/

  Statista：https://www.statista.com/

  - EU-Japan Centre for Industrial Cooperation：https://www.eu-japan.eu/

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

生成：ChatGPT-4o

日本のAIコミュニティ最前線

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

日本のAIコミュニティ最前線

元木大介氏

- **プロフィール**
  - **生成AI塾創立者**：半年で2000人以上の受講者を獲得。
  - **ゾルトラーク開発者**：母国語で書ける世界初のプログラミング言語。
  - **生成AIコミュニティ創設者**：日本最大級、累計6000名超のメンバー。

- **主な功績**
  1. **教育と普及**
     - 生成AI塾を設立し、最新の生成AI技術に関する知識を広める。
  2. **技術開発**
     - ゾルトラークを開発し、プログラミングの敷居を下げる。
  3. **コミュニティの形成**
     - 大規模な生成AIコミュニティを創設し、情報共有と学びの場を提供。
  4. **受託案件**
     - 国内外の大手企業や国立大学と生成AIプロジェクトを成功させる。
  5. **受賞歴**
     - IVS京都生成AIピッチで1.2万人中受賞。
- **日本AI市場への影響**
  - 日本のAI市場において、技術普及と実用化の促進に大きく貢献。

- **参考文献**
  - 元木大介のXプロフィール
  - 元木大介 - Wikipedia

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

日本のAIコミュニティ最前線

狂気の朝活
AIM（エイム）

AI×Morning

主催者
齋藤 潤 氏

AIM伍-早起きAI寺子屋-

「日本人を早起きさせる」AI-Morning(通称AIM:エイム)は土日も休まず毎朝5時からAIを語るコミュニティです。AI時代を生き抜く狂気の朝活。狙い(AIM)を定めて素敵な習慣を作りましょう。

日付	AIM伍 5:00-6:00
6月1日(土)	AIマーケ
6月2日(日)	デザ＆エン対談
6月3日(月)	AI×爆笑王は救世主
6月4日(火)	noisee / AIチャレンジ
6月5日(水)	CREATE Day
6月6日(木)	AI×動画生成
6月7日(金)	AI×海外生活
6月8日(土)	GPTsマルチエージェント
6月9日(日)	AI×スライド2
6月10日(月)	クリエイティブ
6月11日(火)	あきらパパさん会
6月12日(水)	CREATE Day
6月13日(木)	新PV発表×Fillmora
6月14日(金)	canva*capcut
6月15日(土)	Notion
6月16日(日)	AI動画666万再生の秘訣
6月17日(月)	AIマーケティング
6月18日(火)	coze使ってみよう
6月19日(水)	CREATE Day
6月20日(木)	AI×プロダクト開発（添削）
6月21日(金)	10倍成果の仕組み
6月22日(土)	AIM職-AI時代のキャリア
6月23日(日)	AI×海外生活
6月24日(月)	生成AI×スプレッドシート
6月25日(火)	AI×システム思考
6月26日(水)	CREATE Day
6月27日(木)	家族チームのAI活用
6月28日(金)	日本AIM伝説前朝祭
6月29日(土)	日本AIM伝説
6月30日(日)	日本AIM伝説

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI時代 日本のPM育成

～現状と課題～

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

質問 ①

あなたの会社の
“AI時代のPM育成課題”
を教えてください

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI時代のPM育成現状：AIの回答

「コロナ禍の後のAI時代、これによりPM育成に何が起こってる？」

回答：ChatGPT-4o

1. リモートマネジメントスキルの重要性が増加している

- **リモート環境でのチーム管理**：リモートワークが一般化する中で、リモート環境でも効率的にチームを管理するスキルが重要になっている。オンラインツールの活用法やリモートコミュニケーションの技術が求められている。
- **バーチャルコラボレーションツールの利用**：AIを搭載したプロジェクト管理ツールやコミュニケーションプラットフォームの利用が増加し、これらのツールの効果的な活用方法を学ぶ必要がある。

2. データ駆動型の意思決定能力の強化が重要視されている

- **データ分析スキルの習得**：AIを利用したデータ分析や予測モデルの構築が求められ、データに基づいた意思決定ができる能力が重要視されるようになっている。
- **リアルタイムデータの活用**：リアルタイムでデータを収集・分析し、プロジェクトの進捗状況を把握し迅速に対応するスキルが必要とされている。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

3. AIツールの活用スキルの習得が求められている

- **AIツールの導入と運用**：プロジェクト管理にAIツールを導入し、その運用を効果的に行うスキルが求められている。タスクの自動化やリソース配分の最適化など、AI技術を活用する能力が重要となっている。
- **ツール選定とカスタマイズ**：多様なAIツールの中から適切なものを選び、プロジェクトのニーズに合わせてカスタマイズする能力が必要である。

4. 柔軟な適応力とイノベーションの推進力が求められている

- **変化への迅速な対応**：コロナ禍での急速な変化に対応するため、プロジェクトマネージャーは**柔軟性と適応力**を持つことが求められている。これには、AI技術の進化や市場の変化に対応するための継続的な学習が含まれる。
- **イノベーションの推進**：新しいAI技術や方法論を積極的に取り入れ、プロジェクトの革新を推進するリーダーシップが重要である。

5. 人間とAIの協働の最適化が必要

- **AIと人間の協働体制の構築**：AIと人間が協力して効率的にプロジェクトを進めるための体制を構築するスキルが必要である。これには、AIの強みを活かしつつ、人間の創造性や判断力を最大限に引き出すバランスが求められる。
- **エシカルAIの理解と実践**：AI技術の倫理的な側面を理解し、プロジェクトにおいて適切に活用する能力も重要である。

6. 継続的な学習とスキルアップの促進が必要

- **教育プログラムの充実**：AI技術の急速な進化に対応するため、継続的な学習とスキルアップが必要である。企業や教育機関によるPM向けの専門的な教育プログラムの充実が求められている。
- **セルフラーニングの推奨**：プロジェクトマネージャー自身が積極的に新しい知識やスキルを学ぶセルフラーニングの文化が重要である。

AI時代のPM育成課題：AIの回答

「日本の大企業、それに続く中企業のプロジェクトマネジメント層には本質的な問題として、何が起こっているの？」　回答：ChatGPT-4o

1.イノベーションの欠如

- **官僚的な組織構造**：日本の大企業や中企業では、厳格な階層構造と官僚的なプロセスが根付いているため、迅速な意思決定やイノベーションが難しい。新しいアイデアや技術の導入が遅れがちである。
- **リスク回避文化**：失敗を恐れる文化が強いため、新しい試みや挑戦が避けられ、結果として保守的なプロジェクト運営が行われやすい。

2. AIとデジタルトランスフォーメーションの遅れ

- **技術理解の不足**：AIやデジタルトランスフォーメーション（DX）の重要性は理解されているものの、実際にこれらを導入・活用するための知識やスキルが不足している。
- **旧態依然のシステム依存**：古いシステムやプロセスに依存しており、新しい技術を導入するためのインフラ整備や社内調整が遅れている。

3. 人材育成の課題

- **スキルギャップ**：AI時代に必要とされるデータサイエンスや機械学習に関するスキルを持つ人材が不足している。また、既存のPM層がこれらの新しいスキルを身につける機会が少ない。
- **継続的な学習の欠如**：多くの企業では、継続的な教育やスキルアップのためのプログラムが整っておらず、自己学習や研修の重要性が十分に認識されていない。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

４.変革リーダーシップの欠如

- **変革を推進するリーダーの不足**：変革をリードする強いリーダーシップが欠如している。既存のリーダーは変革に対するビジョンや意欲が不足していることが多い。
- **トップダウンの限界**：トップダウンでの変革推進が一般的であるが、現場レベルでの意識改革や実行力が伴わないことが多い。

5. コミュニケーションの問題

- **部門間の連携不足**：部門ごとの縦割り構造が強く、プロジェクトマネジメントにおいて部門間のコミュニケーションや協力が不足している。これにより、プロジェクト全体の統合的な視点が欠けることがある。
- **透明性の欠如**：プロジェクトの進捗状況や課題についての情報共有が不十分であり、透明性が欠けていることが多い。

6. 労働環境の硬直化

- **長時間労働の慣行**：長時間労働が常態化しており、生産性向上や効率的な働き方の実現が難しい。これにより、プロジェクトの進行に遅れや問題が生じやすい。
- **柔軟な働き方の不足**：リモートワークやフレックスタイムなどの柔軟な働き方が浸透しておらず、労働環境の改善が遅れている。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

「今の日本のＰＭ育成の課題を縦軸に、横軸には、以前からあった課題、コロナ禍で発生した課題、AI時代到来により発生した課題を整理してください」

PM育成の課題	以前からあった課題	コロナ禍で発生した課題	AI時代到来により発生した課題
組織文化の変革	官僚的な組織構造、リスク回避の文化	リモートワークでの連携不足	デジタルトランスフォーメーションの遅れ
権限移譲と自主性の強化	中央集権的な意思決定、権限移譲の不足	-	AIを活用した迅速な意思決定と対応の必要性
教育と研修プログラムの充実	継続的な教育・研修の不足、スキルギャップ	オンライン学習環境の整備不足	AI技術やデータサイエンスの習得の必要性
労働環境の改善	長時間労働、固定的な働き方	リモートワークによる働き方の変化	AIによる労働時間管理と効率化の促進
戦略的リーダーシップの育成	変革のリーダーシップ不足、ビジョンの欠如	不確実な環境でのリーダーシップの必要性	AI導入に伴う新しいリーダーシップスキルの必要性
フィードバックと評価システムの改善	一方通行のフィードバック、評価基準の不透明さ	-	データ駆動型評価システムの導入
チームダイナミクスの課題	サイロ化、コミュニケーション不足	リモートワークによるチームの一体感の低下	AIによるリアルタイムコミュニケーションの支援
人材育成の支援	メンタリングやサポートの不足	新しいPMの孤立	AIによるパーソナライズド学習とサポート

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

回答：ChatGPT-4o

さらに深掘りしました

これらの問題の本当の根っこは？ PMに何が起こってる？

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

1. 変革に対する抵抗

- **保守的な文化**：多くの日本企業では、変化に対する抵抗が強く、既存のやり方に固執する傾向がある。これにより、新しい技術やプロセスの導入が遅れがちである。
- **リスク回避の姿勢**：失敗を恐れる文化が根付いており、新しい試みや挑戦が抑制されることが多い。

2. トップダウン型の意思決定

- **中央集権的な意思決定**：意思決定がトップダウンで行われることが多く、現場の声や柔軟な対応が取りにくい。これにより、現場の実情に即した迅速な対応が難しくなる。
- **権限移譲の不足**：プロジェクトマネージャーに十分な権限が与えられておらず、自主的な判断や行動が制約される。

3. 人材育成の不備

- **教育・研修の不足**：AIやデジタル技術に関する最新の知識やスキルを習得するための教育・研修プログラムが不十分である。
- **継続的なスキルアップの欠如**：プロジェクトマネージャーが継続的にスキルアップを図るための支援が不足しており、最新の技術や手法に追いつけない。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

４.組織内コミュニケーションの問題

- **サイロ化**：部門間の連携が不足し、情報共有が十分に行われない。これにより、プロジェクト全体の視点が欠如し、効率的なプロジェクト運営が難しくなる。
- **透明性の欠如**：プロジェクトの進捗や課題に関する情報が適切に共有されず、透明性が欠けている。

5. 労働環境の硬直化

- **労働文化の固定化**：長時間労働や固定的な働き方が根付いており、柔軟な働き方が導入されにくい。これにより、労働者の生産性やモチベーションが低下する。
- **ワークライフバランスの不足**：プロジェクトマネージャー自身が過重労働にさらされ、ワークライフバランスが取れない状況が続いている。

6. 経営陣のビジョン不足

- **戦略的視点の欠如**：経営陣がAIやデジタル技術の重要性を十分に理解しておらず、長期的な戦略が欠けている。
- **変革のリーダーシップ不足**：変革を推進するための強力なリーダーシップが不足しており、組織全体の変革が進まない。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI時代

日本のPM育成戦略

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

33

確認：PM戦略とPM育成戦略

項目	PM戦略	PM育成戦略
目的	組織全体の目標達成、プロジェクトを成功させるための戦略	組織内で優秀なプロジェクトマネージャーを育成、確保するための戦略
視点	組織全体	個人
期間	短期～長期	中長期
対象	経営層、PMO、プログラムマネージャー、プロジェクトマネージャー	現在のプロジェクトマネージャー、将来のプロジェクトマネージャー候補
手段	• ポートフォリオ管理 • プログラム管理 • プロジェクト管理など	• スキルアセスメント • 育成プログラム • キャリアパス • 評価・フィードバックなど

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

この２つを区別して語るポイント

- PM戦略が成功するためには、優秀なPMの存在が不可欠であり、PM育成戦略はPM戦略を支える重要な要素となる
- 大手・中企業では、プロジェクトの規模や複雑性が高いため、**PM戦略とPM育成戦略の両方を重視**することが重要
- **補足**
  - PM戦略とPM育成戦略は、それぞれ独立したものではなく、相互に関連しています。PM戦略に基づいて、どのようなPMが必要なのかを明確にし、PM育成戦略を策定する必要がある
  - **PM育成戦略によって育成されたPMが、PM戦略の実行に貢献することで、組織全体のプロジェクトの成功確率を高める**ことができる

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

質問 ②

あなたの会社の
“AI時代のPM育成戦略”
を教えてください

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI時代のPM育成戦略：AIの回答

「つまり？日本のPMを育成する責務を担っているPMOや人事、PMの上司は何をすればいいの？」

回答：ChatGPT-4o

1.組織文化の変革

- **リスクテイクの奨励**：失敗を許容し、リスクを取ることを奨励する文化を醸成する。これには、失敗から学ぶためのフィードバックシステムの構築が含まれる。
- **オープンコミュニケーションの促進**：全社的に透明性を持ったコミュニケーションを促進し、部門間のサイロ化を解消する。

2. 権限移譲と自主性の強化

- **権限の分散化**：プロジェクトマネージャーにより多くの権限を与え、自主的な意思決定をサポートする。
- **意思決定の迅速化**：現場のプロジェクトマネージャーが迅速に意思決定できる体制を整える。

3. 教育と研修プログラムの充実

- **最新技術の教育**：AIやデジタル技術に関する最新の知識とスキルを習得するための定期的な研修プログラムを提供する。
- **継続的なスキルアップ支援**：プロジェクトマネージャーが継続的に学び成長できる環境を整え、オンラインコースや資格取得の支援を行う。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

4. 労働環境の改善

- **柔軟な働き方の導入**：リモートワークやフレックスタイムなど、柔軟な働き方を推奨し、ワークライフバランスを改善する。
- **長時間労働の是正**：効率的な働き方を推進し、長時間労働を是正するための施策を実施。

5. 戦略的リーダーシップの育成

- **変革のリーダーシップ**：変革をリードするためのリーダーシップ研修を行い、経営層とPM層のリーダーシップスキルを強化する。
- **ビジョンの共有**：経営陣が明確なビジョンを持ち、それを全社に共有することで、組織全体の一体感を高める。

6. イノベーションの推進

- **イノベーションラボの設立**：新しいアイデアや技術を試すためのイノベーションラボを設立し、プロジェクトマネージャーが自由に試行錯誤できる環境を提供する。
- **オープンイノベーションの促進**：外部との協業やコラボレーションを推進し、新しい技術やアイデアの導入を加速する。

7. フィードバックと評価システムの改善

- **360度評価の導入**：プロジェクトマネージャーのパフォーマンスを多角的に評価し、建設的なフィードバックを提供する。
- **パフォーマンスの可視化**：プロジェクトの進捗状況や成果を可視化し、定期的にレビューすることで、透明性とアカウンタビリティを確保する。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

来たる（もう来てる？）

AI全盛時代に向けて

ここからは

会場でお楽しみください！

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

休憩

AI動画をお楽しみください

（４分30）

「月とピアノ」

2037年5月12日から100年間の物語

日本を代表するAIクリエイター

ユギ イサナ氏

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AIの回答に対して

当たり前過ぎるので
ツッコミました

と、その前に考え方の共有

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

企業の「賢明さ」と「健全さ」

賢明であること

競争優位につながる事業戦略、マーケティングプラン、製品やサービスの機能、財務モデルを策定・設計できる

健全であること

メンバーの士気が高く、自由にモノが言い合えて、結束が強く、互いに謙虚であり、逆境の中でも支え合える

- ✓ 従業員エンゲージメント向上
- ✓ 離職率の低下
- ✓ 生産性の向上

- 両軸の必要性
  - 賢明さと健全さは車の両輪
  - 賢明さは物に現れ、健全さは人に現れやすい
- 強固な組織作り
  - 成功している企業とそうでない企業を比較した場合、その差は賢明さより健全さの方に圧倒的にあると考えることができる

出所：株式会社ピープルフォーカス・コンサルティング

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

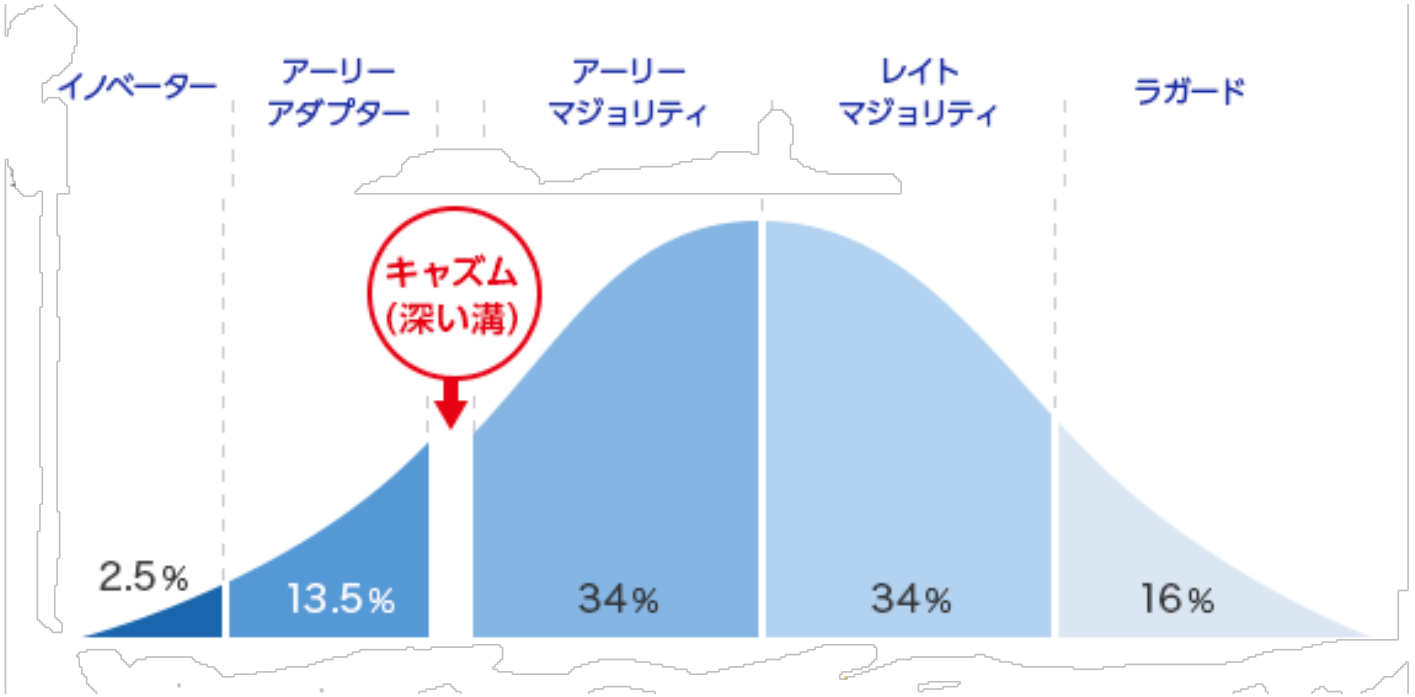
組織文化の重要性

文化は戦略を朝食にして食べてしまう

✓ 組織文化が経営戦略やビジネスの成功に大きな影響を与える

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

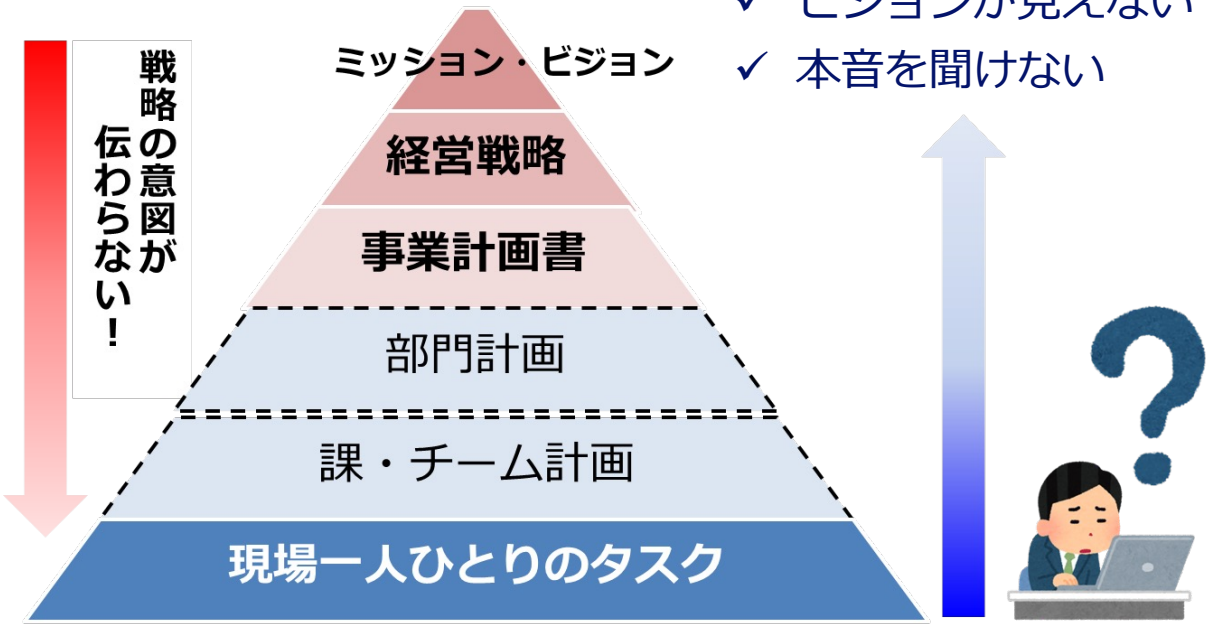
キャズム理論と金魚鉢理論



Copyright 2024 Business Facilitation Service.

組織が抱える様々な課題

- ✓ 自分の目標を立てられない
- ✓ 部下を育成できない
- ✓ 熟練のやり方が若手に合わない
- ✓ ビジョンが見えない
- ✓ 本音を聞けない



結果的に・・・

- ➢ 従業員エンゲージメントの低下
- ➢ 離職率の増加（増員しても辞めていく）

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI時代のPM育成戦略

EQ

OKR

社内コミュニティ

PM専用チャットBot

AI活用メンター

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

1. PMのEQ力向上

- 「IQの多くはAIが担う時代」：EQの重要性
- オンライン時代の心理的安全性
- 強みの伸ばし方
  - クリフトンストレングスの活用
    - 「うどんと七味」
- クリティカルシンキングの重要性

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

才能アセスメント活用目的

- 自己認識と他者認識（社会）
  - 360度評価に取って変わるVUCA時代の個人・チーム・組織の成長プログラム
  - 自分と他者の強み・弱み・課題を知る
  - 強みを成長させる
- 才能のコラボレーション（チーム）
  - チーム力を最大限に引き出すために、「弱みの補完」と「強み×強みの掛け算」を行う
- MVVや目標管理、課題管理との連動（組織）
- 1on1（上司－部下コーチング）や評価面談素材（上司・部下）
  - 上司の価値観で部下を判断しない
  - 上司の1on1や評価の負荷軽減
- 自分の問題発見、問題解決、目標達成（個人）

Copyright © 2023 Business Facilitation Service. All Rights Reserved.
Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

48

才能とは？

「才能」とは、自然と繰り返すことができ、かつ、
繰り返せば繰り返すほどエネルギーが湧き出る
思考・感情・行動のパターンのこと

※ 内発的動機＝繰り返せば繰り返すほどエネルギーが湧き出る動機。「ワクワク、楽しさ、有能感」を感じるような感覚。
※ 外発的動機＝自分の外側に起因した動機。例）評価。

- 才能は誰もが持っている。ただ、それを使っている人と使っていない人がいる。
- 才能は自分の使い方次第で、「強み」にも「弱み」にもなる。
- 才能は使いこなすことで、変化・成長していく。

Copyright © 2023 Business Facilitation Service. All Rights Reserved.
Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

49

資質・強み・弱みとは？

- 「資質」とは、5000以上ある「才能」を34の似たような才能の集まりとして分類したもの。先天的なものと後天的なものがある。

注：アメリカのギャラップ社（調査会社）の定義

- 「強み」とは「才能をうまく活かしている状態」
- 「弱み」とは「才能をうまく活かせていない状態」

診断ツールでわかった内容（才能・資質・強み・弱み）で自分を制限するのではなく、多様な選択肢や新たな可能性につなげていくというとらえ方が大切！

Copyright © 2023 Business Facilitation Service. All Rights Reserved.
Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

50

才能を強みとして発揮しているときの特徴

Essential
自分らしい

3E

Effortless
自然と表せる

Energizing
自然と活力が湧く

Copyright © 2023 Business Facilitation Service. All Rights Reserved.
Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

51

才能を強みとして発揮しているときの特徴

ノンバーバル（非言語）サイン

声に抑揚がある

口調が早くなる

目が大きくなる

喋りが流暢になる

眉毛が上がる

笑顔や笑いが出る

ジェスチャーが増す

比喩を多く使う

- ✓ 楽しい
- ✓ クリエイティブ感

（自分の脳を使えている状態）

Copyright © 2023 Business Facilitation Service. All Rights Reserved.
Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

52

自己認識について

- あなたの当たり前は、他者にとっての当たり前ではありません。
- 無自覚な才能は凶器にもなります。
- 自分のことは自分では意外とわかりません。

自分の才能から生じる「あなただけの当たり前」を他者に押し付けて、凶器のように振り回し、他者の才能を傷つけ、流血沙汰になっているようなケースは、そこかしこで起こっています。才能はそれくらい物凄い力を持っています。その才能をうまく使いこなすカギは**「自己認識」**です。

  - あなたはまだ自分の本当の強み・弱みに気づいていないかもしれません・・・

Copyright © 2023 Business Facilitation Service. All Rights Reserved.
Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

53

弱みについての注意事項

- 弱みは、あなたが何かに欠落しているから、何かの技術や知識が不足しているから、人間として教養が足りていないから、起こるのではありません。弱みとは、あなたがあまりにも持ちすぎている力、つまりあなたの才能そのものから現れているのです。

弱み：「欠落」ではなく「too much」

✓ 資質のトップ５やトップ10に含まれている才能が弱みとなって表れやすい。
✓ 資質の34番目が弱みになるのではありません。この場合は「課題」になります。

Copyright © 2023 Business Facilitation Service. All Rights Reserved.
Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

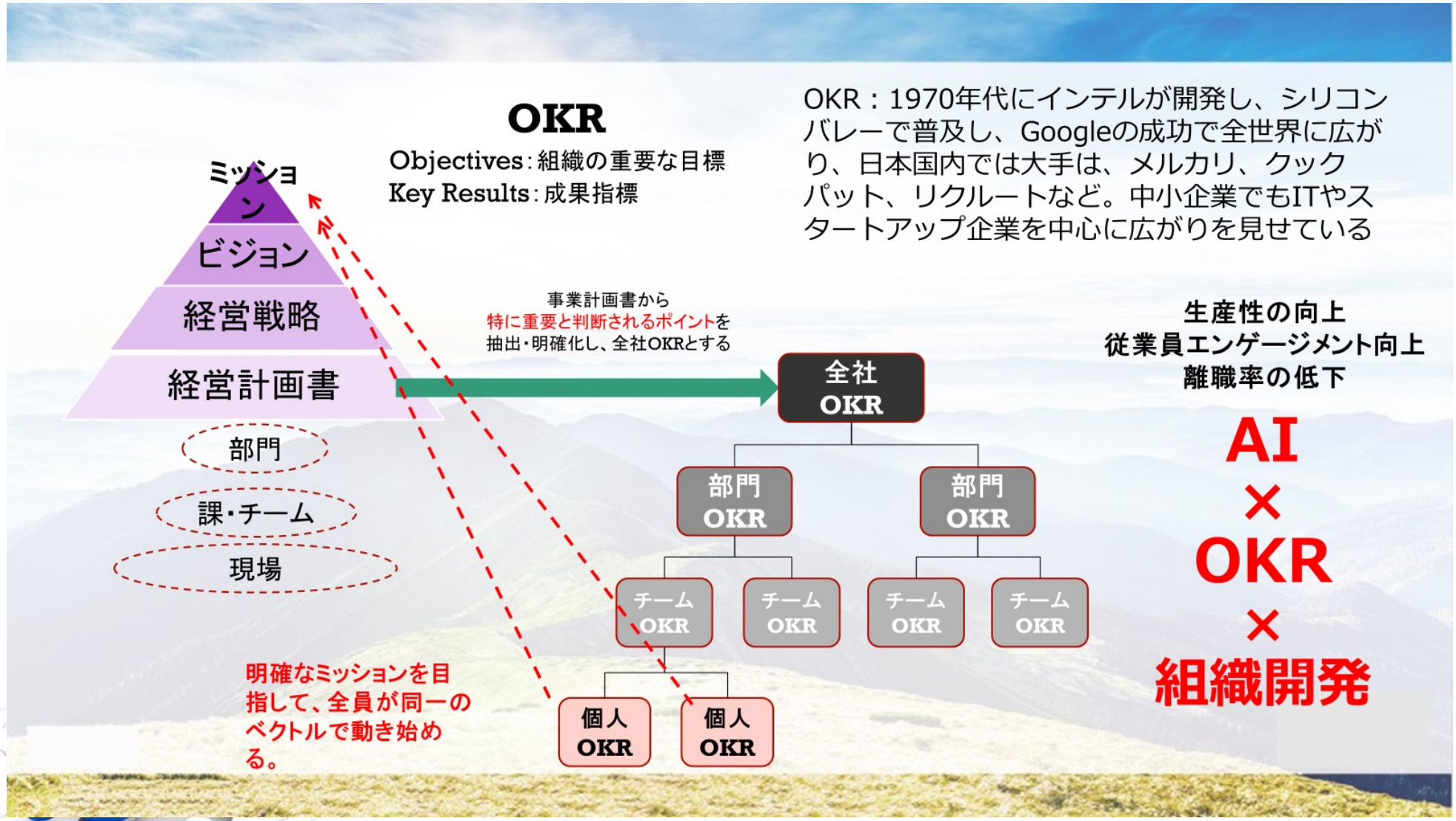
54

2. OKR（目標管理手法）の導入

- OKRとは？
- OKRが日本の組織に馴染まなかった理由
- OKRがAI組織浸透に有効である理由
- 参考図書「ChatGPTで経営支援 強い組織の作り方」

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

OKR×AI：AI戦略の見える化



Copyright 2024 Business Facilitation Service.

3. 社内コミュニティ

- 仮説
  - 大企業の変革を実現するのは強烈なリーダーシップか社内コミュニティ

- 日本企業における社内コミュニティ：応用力と人材不足の視点から

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

応用力を活かした社内コミュニティの強化

- **視点 1: 日本人は応用が得意**
  - **応用力の活用**：日本人の応用力の高さを活かして、社内コミュニティの改善に取り組むことができます。例えば、新しい技術やツールを迅速に取り入れ、効果的に活用するためのワークショップやトレーニングを社内で開催することが有効です。
  - **ベストプラクティスの共有**：他の企業や業界で成功した事例を参考にし、それを自社の状況に応じて適用する。日本企業の従業員は、既存のプロセスを改善するための創意工夫に優れているため、これを活かしてコミュニティの活性化を図ることができます。
  - **プロジェクトベースのコラボレーション**：社内で異なる部署やチームが共同でプロジェクトを進めることで、応用力を高めると同時に、社員同士の連携を強化することができます。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI教育者の育成を支援する社内コミュニティ

- **視点 2: AI人材を育てる人材が不足**
  - **内部教育の推進**：社内コミュニティを活用して、既存のAIスキルを持つ社員が他の社員を教育するためのメンタープログラムを実施します。これにより、教育者の不足を補いながら、全社的なスキルアップを図ります。
  - **継続的な学習とキャリア開発**：社内コミュニティを通じて、社員が継続的に学習できる環境を提供します。例えば、オンラインコースや社内勉強会を定期的に開催し、最新のAI技術やトレンドを共有します。
  - **外部専門家との連携**：外部のAI専門家や教育者を招いて社内トレーニングを実施することで、社員が最新の知識を習得できる機会を増やします。これにより、社内での教育者不足の問題を緩和します。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

4. PM専用チャットBot

- （別紙）

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

「では、これらのメリットをより大きくし、デメリットをより小さくする方法を表で整理して」

回答：ChatGPT-4o

メリット	デメリット	対策
効率的なスキルアップ	データのプライバシーとセキュリティのリスク	- データ暗号化と厳格なアクセス管理を実施 (MDPI) (Six Seconds) - プライバシーポリシーを明確にし、透明性を確保
最新技術情報の提供	誤ったフィードバックのリスク	- 定期的なアルゴリズムの精度検証と改善 (Frontiers) - 人間によるフィードバックの補完
パーソナライズドフィードバックの提供	対面のコミュニケーションの欠如	- 定期的な対面ミーティングの実施 (Frontiers) - ハイブリッドなコミュニケーションアプローチを推奨
1on1の効率化	誤解のリスク	- AIの補完としてクリアな指示や説明を追加 (Six Seconds) - トレーニングで非言語的コミュニケーションスキルを強化
データ駆動型の意思決定支援	自律性の喪失	- AIの推奨を参考にしつつ最終決定は人間が行う (Six Seconds) - 定期的なスキルアップトレーニング
リアルタイムサポートの提供	導入コストと維持費	- 初期投資のリスク評価とROI分析 (MDPI) - 継続的なメンテナンスと改善計画の立案
効果的なコミュニケーションの強化	導入時の抵抗	- 段階的な導入とフィードバックの収集 (Frontiers) - 成功事例の共有と社内教育プログラムの実施
定期的な1on1のサポート		- 自動化されたスケジュール管理 (Six Seconds) - プライオリティに基づくフォローアップの実施

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI活用メンター

- AI活用メンターとは？
- 仮説：今のPMにはロールモデルがいない（いても非常に少ない）
- 誰がなる？どうなる？

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

戦略・戦術のまとめ

回答：ChatGPT-4o

要素	戦略（Strategy）	戦術（Tactics）
PMのEQ向上	PMの感情知能（EQ）を向上させるための全体的な取り組みや方針を設定。	EQ向上のための具体的なトレーニングプログラムやワークショップの実施。
OKRによる目標管理手法の導入	組織全体でOKRを導入し、目標達成のための枠組みを構築。	各チームや個人に対して具体的なOKRを設定し、定期的に評価・フィードバックする。
社内AIコミュニティ	AI技術を活用した社内コミュニティを形成し、知識共有やイノベーションを促進。	定期的なミーティング、ワークショップ、オンラインフォーラムの運営。
PM専用チャットボット	PMのサポートを強化するためにチャットボットを導入する方針を設定。	チャットボットの開発・実装、PMからのフィードバックを基にした機能の改善。
AI活用メンター	AIを活用したメンターシッププログラムを導入し、PMのスキル向上を目指す。	AIメンターによる定期的なコーチングセッション、パフォーマンス評価とフィードバックの実施。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

「日本の PM 育成 うまくいってる企業とうまくいってない企業の差はどこにあるの ？」

回答：ChatGPT-4o

1. 教育と研修プログラム

- **成功している企業**
  - **体系的な教育プログラムの導入**：成功している企業は、PMのための体系的な教育プログラムを導入しています。これには、継続的なスキルアップトレーニングや最新のプロジェクト管理手法の教育が含まれます。
  - **多様な学習機会の提供**：オンラインコースやワークショップ、実践的なトレーニングを提供し、PMが最新の技術や手法を学ぶ機会を増やしています (MDPI) (Frontiers)。
- **うまくいっていない企業**
  - **教育投資の不足**：教育や研修に対する投資が不足しており、PMが必要とするスキルを習得する機会が限られています。これにより、最新の技術や手法に対応できないことが多いです (Six Seconds)。

2. 組織文化とサポート体制

- **成功している企業**
  - **オープンなコミュニケーション文化**：成功している企業は、オープンで透明性の高いコミュニケーション文化を持ち、意見交換やフィードバックが活発に行われています。これにより、PMはチーム全体の状況を把握しやすくなっています (Frontiers)。
  - **強力なサポート体制**：メンター制度やコーチング制度が整備されており、経験豊富なPMからのサポートを受けることができます。これにより、新人PMもスムーズに成長できます (MDPI)。
- **うまくいっていない企業**
  - **閉鎖的な組織文化**：コミュニケーションが一方向であり、上下関係が厳しいため、PMが自由に意見を言いにくい環境です。これにより、チームの連携が取れず、プロジェクトがスムーズに進行しにくくなります (Six Seconds)。
  - **サポートの欠如**：メンターやコーチが不足しており、PMが孤立しやすく、問題解決のための支援が得られないことが多いです (Frontiers)。

3. 技術とツールの導入

- **成功している企業**
  - **最新技術の導入**：成功している企業は、AIやデータ分析ツールなどの最新技術を積極的に導入し、PMの意思決定を支援しています。これにより、プロジェクトの効率化と精度向上が図られています (MDPI) (Frontiers)。
  - **ツールの活用**：プロジェクト管理ツールやコミュニケーションツールを効果的に活用し、チームの連携と情報共有を促進しています (Six Seconds)。
- **うまくいっていない企業**
  - **旧態依然のシステム依存**：古いシステムや手法に依存しており、新しい技術やツールの導入が遅れています。これにより、プロジェクト管理の効率が低下しています (Six Seconds)。

4. リーダーシップと変革管理

- **成功している企業**
  - **変革を推進するリーダーシップ**：強力なリーダーシップを持つ経営層が変革を推進し、PMに対して明確なビジョンと目標を提示しています。これにより、PMが方向性を持ってプロジェクトを進めることができます (MDPI)。
  - **柔軟なアプローチ**：変化に迅速に対応できる柔軟なアプローチを採用し、環境の変化に適応できるようにしています (Frontiers)。
- **うまくいっていない企業**
  - **保守的なリーダーシップ**：変革に対して消極的であり、リーダーシップが不足しているため、PMが自律的に行動することが難しくなっています (Six Seconds)。
  - **硬直的なアプローチ**：変化に対応できない硬直的なアプローチを採用しており、プロジェクトが環境変化に適応できないことが多いです (Frontiers)。
- **参考文献**
  - Impact of Construction Project Managers' Emotional Intelligence on Project Success (MDPI)
  - Construction Project Manager's Emotional Intelligence and Team Effectiveness (Frontiers)
  - How Did the Pandemic Impact People's Emotional Intelligence? (Six Seconds)

「うまくいってる企業とうまくいってない企業、 IQ と EQ に分けて整理して表にして」

回答：ChatGPT-4o

観点	成功している企業	うまくいっていない企業
IQ	**教育と研修プログラム** - 体系的な教育プログラムの導入 - 多様な学習機会の提供 (MDPI) (Frontiers)	**教育投資の不足** - 教育や研修への投資が不足 (Six Seconds)
IQ	**技術とツールの導入** - 最新技術の積極的導入 - プロジェクト管理ツールの効果的な活用 (MDPI)	**旧態依然のシステム依存** - 古いシステムや手法に依存 (Six Seconds)
EQ	**組織文化とサポート体制** - オープンなコミュニケーション文化 - 強力なサポート体制 (Frontiers)	**閉鎖的な組織文化** - コミュニケーションが一方向 - サポートの欠如 (Six Seconds)
EQ	**リーダーシップと変革管理** - 変革を推進するリーダーシップ - 柔軟なアプローチ (MDPI) (Frontiers)	**保守的なリーダーシップ** - 変革に消極的 - 硬直的なアプローチ (Six Seconds)

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

問い

AI時代における

最大の挑戦と機会は何であり、

あなた（もしくは貴社）は

それにどう対応しますか？

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

グループワーク

1. AI時代における最大の挑戦は何ですか？
（自社もしくは自分自身にとって）

※ オンライン参加の方はチャットに書いてください
※ ワークのルールがあります

《挑戦（Challenges）とは》 ※ 生成：Gemini Advanced（Google）

一般的な定義:

- 困難な状況や問題に立ち向かうこと。
- 自らの能力や限界を試すこと。
- 新しいことや未知のことに取り組むこと。

ニュアンス:

- 困難を克服する過程で、成長や達成感を得られる可能性がある事柄。
- 失敗のリスクも伴うが、それを乗り越えることで大きな成果が得られる可能性がある事柄。
- 自信や勇気を必要とする事柄。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

★ワークのルール★

- 自分が話す持ち時間を守ってください
- 傾聴してください（耳だけでなく目と心で聞く）
- 意見の多様性を楽しんでください
- 他者の意見を否定せず、「なぜそう思ったか？」を質問してみましょう
- 正しい答えはありません
- 自分が話してみて、また他者の話を聞いてみて、何を感じたか、何を思ったか、が重要です

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

グループワーク

2. AI時代における最大の機会は何ですか？（自社もしくは自分自身にとって）

※ オンライン参加の方はチャットに書いてください
※ 挑戦と機会について（次のスライド）

《機会（ Opportunity ）とは》 ※ 生成：Gemini Advanced（Google）

一般的な定義:

- 目標達成や願望実現につながる可能性のある状況やチャンス。
- 好ましい結果をもたらす可能性のある状況。
- 新しいことや未知のことに取り組むきっかけ。

ニュアンス:

- ポジティブな変化や成長をもたらす可能性がある事柄。
- 逃してしまうと、後悔する可能性がある事柄。
- 機会を活かすためには、行動力や決断力が必要となる事柄。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

挑戦と機会

- 挑戦を先に特定する
  - これにより、企業が直面する具体的な問題や障壁を明確にし、その解決が最優先であることを理解します
- 挑戦の次に機会を考える
  - これにより、課題解決に向けたポジティブな視点を持つことができ、問題を克服するための新しい方法やアプローチを見つける可能性が高まります
- 挑戦と機会を分けて考える
  - **具体的なアクションプラン**：挑戦を明確にした後、それを克服するための具体的な機会を見つけることで、実行可能な戦略を策定することができます
  - **バランスの取れたアプローチ**：挑戦と機会を組み合わせて考えることで、現実的かつ前向きな計画を立てることができます

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

グループワーク

3. あなた（もしくは貴社）はそれに対して
   具体的にどう対応しますか？

※ オンライン参加の方はチャットに書いてください

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

グループ共有

4. このワークをやってみて何に気づきましたか？

※ オンライン参加の方はチャットに書いてください

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

クロージング

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

「ChatGPTの業務活用効果」に関する調査

米国の経営大学院ハーバード・ビジネス・スクール（HBS）や米ボストン・コンサルティング・グループ（BCG）などとの共同調査
- https://gendai.media/articles/-/123074?imp=0

- BCGコンサルタントを2つのグループに分け、異なる種類の仕事(ChatGPT「GPT-4」)を割り当て
  - A.「創造的な仕事（creative job）」（385人）
  - B.「分析的な仕事（analytical job）」（373人）

注意：GPT-4のみでの調査

✓ 1つの見方として

創造的な仕事
- ✓ クォリティ
- ✓ スピード

分析的な仕事
- ✓ クォリティ
- ✓ スピード

比較的業務経験の浅い頭脳労働者の方が、より大きなプラス効果を発揮

分析的な業務にはChatGPTなど生成AIはマイナスに作用することが判明

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

（続き）

- うっかりこれに**依存する癖**がついてしまえば、頭脳労働者の創造性など**知的能力を減退させる恐れ**もある
- 一方、今回の調査に協力したBCGのような企業側の立場からは、ChatGPTのような生成AIは**「組織的・技術的な投資を最小限に抑えて、**頭脳労働者の**生産性や仕事のクォリティを高める上で極めて効果的なツール」**と見ることができる。
- **生成AIの得意領域と不得意領域を正確に見極める**ことが、これからの企業にとって重要な課題
- **両者の境界線**はOpenAIやマイクロソフト、グーグルなど「生成AIの開発企業」が予め指定できるものではなく、むしろ**生成AIを導入する「ユーザー企業」側が半ば経験的に判定・識別**していくしかない

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

「知の探索」と「知の深化」

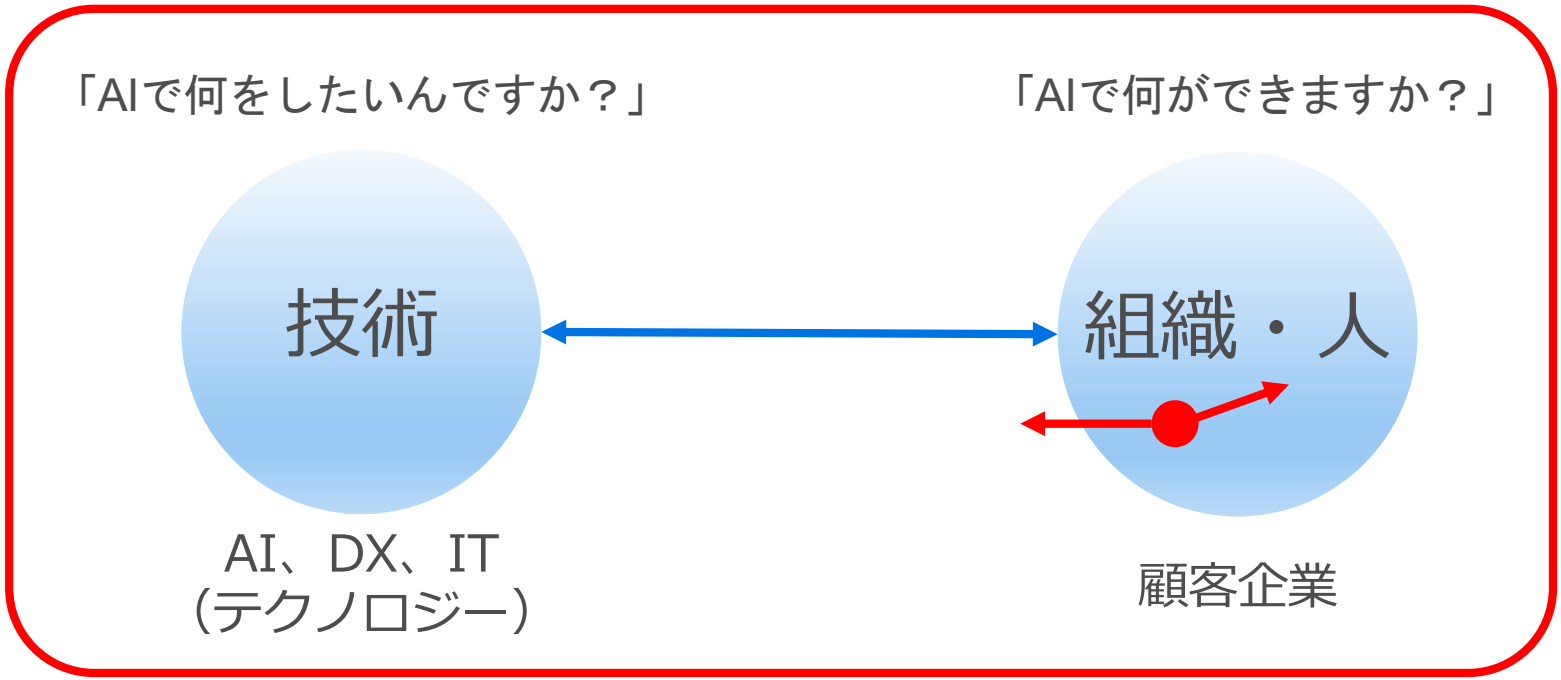
- 知の探索 **(Exploration)**
  - 新しい知識の獲得、新技術の開発、未踏の市場への進出といった、新しい機会の追求を指す
  - 高いリスクと不確実性を伴うが、大きな報酬をもたらす可能性もある
  - 探索活動は、革新的イノベーションを生み出す基盤となる
- 知の深化 **(Exploitation)**
  - 既知の領域内での効率化、改良、洗練を目指すプロセス
  - 製品の品質向上、生産プロセスの効率化、コスト削減などが含まれる
  - 深化活動は、漸進的な改善や既存の事業基盤の強化に寄与する

【ジェームス・G・マーチによる1991年の論文】
組織学習とイノベーションに関する研究の中で、組織が長期的な成功を達成するためには、探索と深化の間で適切なバランスを見つける必要があると指摘。組織が直面するトレードオフの管理、リソースの割り当て、長期戦略の計画における重要な枠組みとして受け入れられている。
組織が新しいイノベーションの機会をどのように探求し、同時に既存の事業をいかに効率的に運営し続けるかという、経営戦略の核心的な課題を体現している。

- 『世界標準の経営理論』入山 章栄著 2019年12月 14万部
- 『両利きの組織をつくるー大企業病を打破する「攻めと守りの経営」』加藤雅則 2020年3月
  AGC（旧旭硝子）の実例
- 『両利きの経営（増補改訂版）ー「二兎を追う」戦略が未来を切り拓く』2022年6月

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AIサービスにおける私の立ち位置



IT歴20数年

組織開発歴17年

AI開発会社と顧客企業を１つのチームとし、
全体のマネジメントを行います

- ✓ AI顧問（AI Advisor）
- ✓ 社外AI部長（External AI Director）

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

AI導入の課題と弊社の強み

AI導入の継続的課題

- **技術的ハードル**: 不透明な初期投資と高い専門知識の必要性
- **進化するツール**: AIはExcelやWindowsのような静的なソフトウェアとは異なり、新しいツールやアップデートが継続的に提供されます。これにより、最適な選択が難しくなることが多々あります
- **倫理的問題**: AIの利用は倫理的な考慮を必要とし、これが導入の複雑さを増加させます。

AI導入は単なる技術の導入以上のものです。絶え間なく進化するツールの選択、倫理的な判断が求められ、企業の適応力が試されます

BFSの競争優位性

- **多角的知見:** AIやDX、組織開発（OD）、人事（HR）の専門知識を兼ね備えたリーダーシップ
- **客観的な提案力:** 特定のパッケージや製品に依存せず、クライアントのニーズに応じた最適な解決策を提供
- **広範な専門家ネットワーク:** 画像生成、動画生成などの専門分野に精通したパートナーと連携し、全方位的な技術サポートを実現
- **経験豊富なファシリテーター:** 長年にわたるファシリテーション経験を活かし、組織内のスムーズな意思決定を支援

弊社は、ただの技術提供者ではありません。クライアントの実際の課題に対し、最適かつ総合的なソリューションをデザインします

Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

サービス内容

- **AI顧問 (AI Advisor) ／ 社外AI部長**
  - 役割と職務: 企業がAI技術を効果的に導入し、活用するための専門的アドバイスや戦略的指導を提供。主に相談役として機能し、特定のプロジェクトや継続的な組織運営に関して専門的意見を提供する。
  - 職務内容: 戦略策定、技術選定のサポート、問題解決、継続的な教育やトレーニングの提案などを行う。
  - 責任範囲: 顧問は企業の日常的な運営には関与せず、戦略的なアドバイスや特定の問題に対する解決策提供に集中する。
  - 最低期間: サブスク型で6ヶ月以上

- **組織導入支援（Organizational Implementation Support）**
  - 役割と職務: ステップ1で策定したカスタマイズされた戦略に基づいて、AIの組織への浸透と活用をサポート。
  - 職務内容: カスタマイズされたAI導入計画の実施、経営と組織作りに向けの専門コンサルティング、組織内AI能力の強化。
  - 体制: 社内に3名～4名からなる組織浸透チームを編成し、社内のAI導入をリード。AIプロジェクトに必要な特定専門家チームとの協力体制を構築。
  - 最低期間: 6ヶ月以上。

Copyright © 2022 Business Facilitation Service.

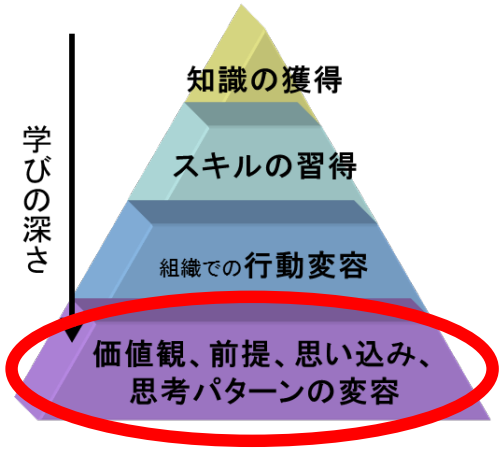
振り返り

ご質問、ご感想

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

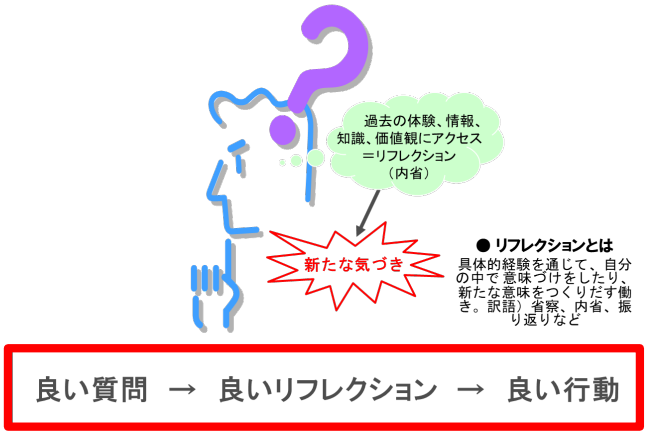
組織の中で起こる学習

- 深い学習

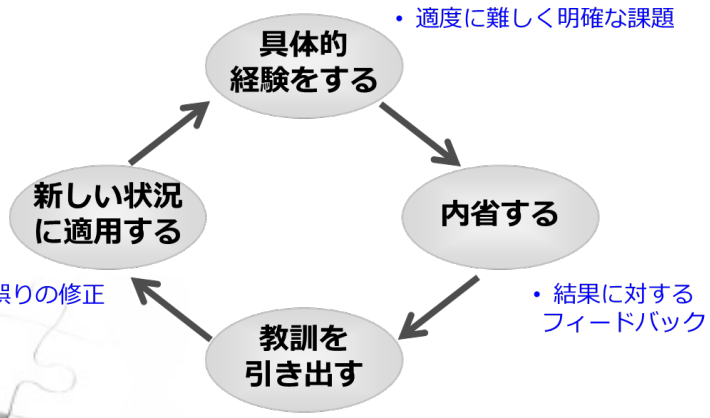


※ メンタルモデル

- 内省（リフレクション）



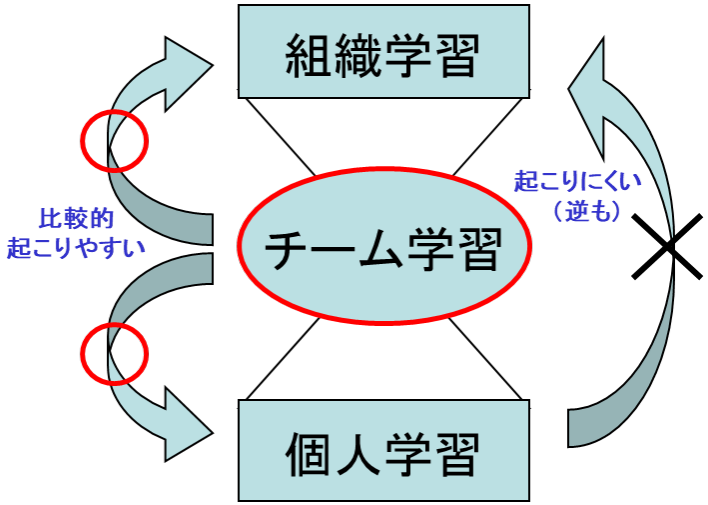
- 経験から学ぶ学習サイクル



同じ経験をしても成長する人としない人がいる

⟶ 「経験から学ぶ」力の違い！

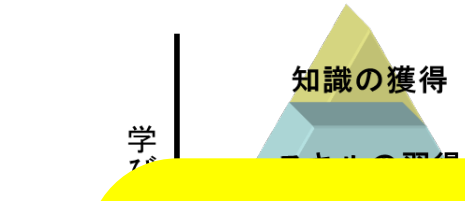
- チーム学習



Copyright 2024 Business Facilitation Service.

組織の中で起こる学習

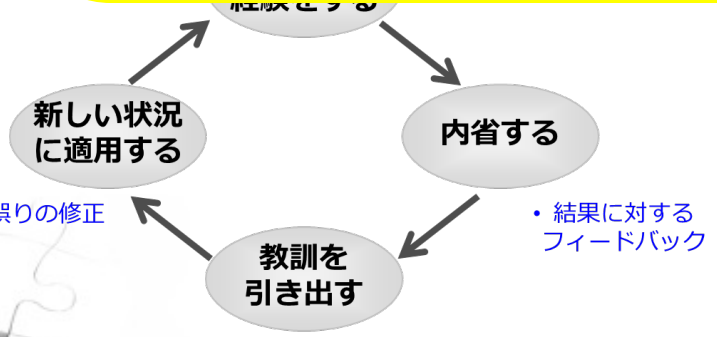
- 深い学習
- 内省（リフレクション）

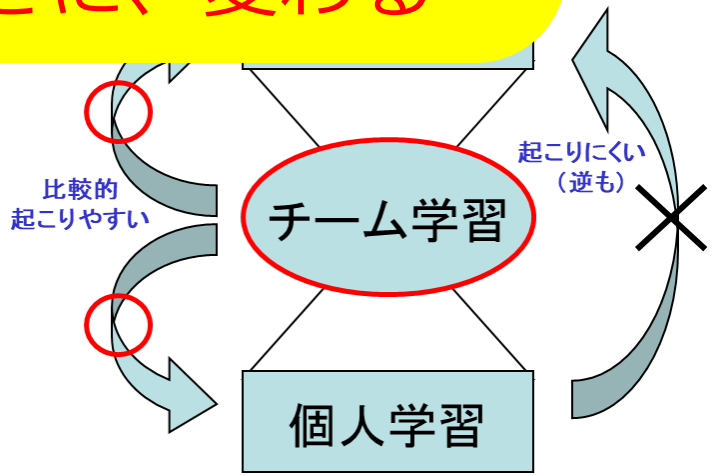


《大前提》
リーダーは
他者に指摘されるのではなく、
変わる必要があると
自分で気づいたときに、変わる

※ メン

- 経





同じ経験をしても成長する人としない人がいる

⟶「経験から学ぶ」力の違い！

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

従業員が求めている６つのこと

これからの日本のエグ ゼクティブ（経営者、経営幹部、部長層）が実現すべき、従業員が求めている（今後求めるであろう）6 つのこと。

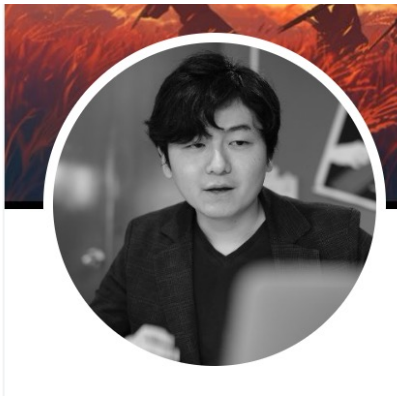
1. ただ「給料」をもらうために働くのではなく「目的」を求めている
2. 仕事に「満足度」だけではなく「成長」も求めている
3. 指示命令型の「ボス」ではなく「コーチ」を求めている
4. 「年 1 回の評価」ではなく「継続的な対話」を求めている
5. 「弱み」ではなく「強み」に注視してくれることを求めている
6. 仕事とは、単なる「仕事」ではなく「人生」そのものである

※ 書籍『ザ・マネージャー～人の力を最大化する組織をつくる～』（ジム・クリフトン、 ジム・ハーター著、日本経済新聞出版）に記載されている「いま職場で起きている 6 つの変化」に加筆。

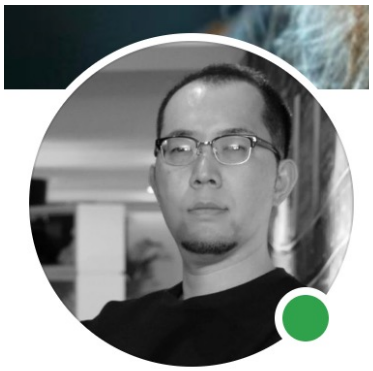
※ ジム・クリフトン：ギャラップ社のCEOであり、強みに基づく開発の推進者。彼のリーダーシップの下、ギャラップはクリフトンストレングス（旧称ストレングスファインダー）を開発。このツールは、個人が自身の固有の才能と強みを特定し、これらを最大限に活用する方法を理解するのを助ける。クリフトンの著作やギャラップの研究は、個人と組織が成功するために強みをどのように活用できるかに焦点を当てている。

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

コミュニティリーダーたちの ビジョンと戦略



- 「日本人は応用が得意」（元木氏）
  - 「私の活動は現代の魔法を作っているようなものです。これまで多人数で作り上げられていたものがAI活用によりあらゆる事業やサービスが極少人数でかつ短時間で生成できるようになってきています。急激に広がりつつある生成AIエンジニアという新しい時代の職種の可能性を引き続き探求してゆきたいと思います。」



- 「AI人材を育てる人材が不足」（JUNさん）
  - 「AIは世界戦が熱いので、いつも世界を気にながら活動する必要があります。日本は世界のAIスタートアップからも特別な存在として認知されており、特にAIツールのソフト面での使い方発明国として台頭する可能性あります。ともに日本をAIの国にしてゆきましょう」

AI時代においては全員がチャレンジャー

Copyright 2024 Business Facilitation Service.

ご参加いただき、
誠にありがとうございました。

皆様の貴重なお時間とご意見に
感謝いたします。

ビジネスファシリテーション・サービス
新岡優子
Eメール：y-niioka@bizfaci.jp

Copyright 2024 Business Facilitation Service.